

気象庁“緊急地震速報”対応の地震対策システムの取扱いを開始します。

この度、10月1日から始めました気象庁の緊急地震速報の一般提供に伴い、保険相談センターでは、地域の皆様の安全確保・BCP策定のお手伝いをさせていただき、株式会社カプトとの販売業務提携により、リスクマネジメントを提供するKABTO SHOPとして気象庁“緊急地震速報対応”の「地震対策システムQCASTシリーズ」を販売することになりました。

(Googleニュースでもリンク掲載されています。)

http://www.dreamnews.jp/?action_press=1&pid=0000000343)

このシステムは、“緊急地震速報”を受信し、揺れが来る前に 推定震度や推定到達時間を表示し、警報や制御信号を各機械設備・システムにスピーディに伝達し、人命の安全確保や機械の制御をし、被害を最小限に食い止める為のシステムです。

システムの内容につきましては、

http://www.kabto.com/solution/solution_meisei.htm

具体的には、緊急地震速報を受信し、各種機械・設備などのスイッチのON・OFFを自動的に行うことで被害を最小限におさえます。

実際の新潟中越地震でのシステム稼働の動画

http://www.kabto.com/solution/solution_meisei_demo.htm

例)

緊急地震速報を受信し、館内放送の放送設備をONすることで

- ものの倒壊・落下・転倒による死亡・ケガをさける為、安全確保。避難誘導。
- 揺れによる作業ミスを防ぐ為、作業一時中断し、死亡・ケガを防ぐ。

(工場や作業場など)

- 危険物取扱いを一時中断し死亡・ケガを防ぐ。
- 手術中の患者に対して、揺れによってミスを起こすことによる死亡・手術対象外の部位を損傷させるなどを防ぐ。

緊急地震速報を受信し、機械・設備をOFFすることで

- ガス関連設備、ボイラーや発電機、コンプレッサーなど高温・高圧設備など、損傷するにより2次災害が発生する可能性のある設備の自動停止。有機溶剤の配管など配管制御。
- 高額機械・設備等の設備の自動停止により、損傷を防ぎ再稼働までの時間を短縮。

■エレベータの最寄階での停止、自動開放。

緊急地震速報を受信し、機械・設備をOFFすることで

■停電を想定した自家発電装置の自動稼働。

■自動ドアの開放。

などが考えられ、この他にも減災することが可能なこともあるかと思えます。

資料請求については

こちらから

<https://cs043.xbit.jp/~w043268/FormMail/Meisei2/FormMail.html>